



# IAMAS 出前教室

## 第14回 メディアのなかのこども

### 出前教室とは…

領家町にあるIAMASの教員や学生が、毎月1回大垣のまちに出て、市民のみなさんに向けて行うレクチャーや公開ゼミのことです。

※IAMAS(イアマス)とは、情報科学芸術大学院大学と岐阜県立国際情報科学芸術アカデミーの総称です。

こどもとメディア、といったときの「メディア」はマスメディアをさすことが多いようです。今回はメディアの「王道」であるメディア表現／小説、映画、演劇などくから見たこどもイメージについて考えます。戦前の児童劇から『ポニョ』や『Q84』にいたる現代まで、「描かれるこども」を主題にして解説してゆきます。

小林 昌廣(こばやしまさひろ)

情報科学芸術大学院大学スタジオ4教授。芸術生理学者。医学・芸術・哲学を頂点とする三角形の中心に「身体」を措定して、さまざまな身体表現の研究・批評、医療福祉分野における芸術表現行為の応用、さらに舞台芸術のプロデュース等を行う。最近の関心は、病院空間にアートを介在させる方法の開発、暗黒舞踏と地唄舞の比較研究、落語の身体的研究等。

日時 平成21年7月23日(木)19時～21時

会場 大垣市多目的交流イベントハウス

大垣市郭町二丁目二八番地

定員 50名程度 ※参加無料／予約不要

対象 一般、学生の方

主催 情報科学芸術大学院大学メディア文化センター(CMC)

TEL 0584-75-6606

FAX 0584-75-6604

